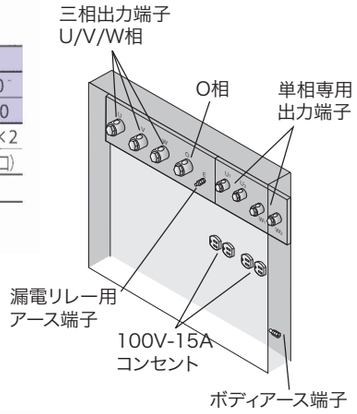
単相専用出力の許容出力表

型式	SDG13		SDG25		SDG45		SDG60		SDG100		SDG125		SDG150	
周波数(Hz)	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60
電圧(V)	100	110	100	110	100	110	100	110	100	110	100	110	100	110
専用端子(kVA)	–		6.0	6.6	6.0×2	6.6×2	7.5×2	8.25×2	10×2	11×2	10×2	11×2	10×2	11×2
コンセント(A)	15×2セット(4口)		15×2セット(4口)※		15×2セット(4口)		15×2セット(4口)		15×1セット(2口)		15×1セット(2口)		15×1セット(2口)	
許容電流(A)	30		60		60×2		75×2		100×2		100×2		100×2	

※ SDG25は4口で合計15A×2以下で使用してください。

型式	SDG220		SDG300		SDG400		SDG500		SDG610		SDG800	
周波数(Hz)	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60
電圧(V)	100	110	100	110	100	110	100	110	100	110	100	110
専用端子(kVA)	–		–		–		–		–		–	
コンセント(A)	15×1セット(2口)		15×1セット(2口)		15×1セット(2口)		15×1セット(2口)		15×1セット(2口)		15×1セット(2口)	
許容電流(A)	15		15		15		15		15		15	



中性点(0端子)使用の単相出力表

型式		SDG13		SDG25		SDG45		SDG60		SDG100		SDG125		SDG150	
周波数(Hz)		50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60
電圧(V)		115	127	115	127	115/231	127/254	115/231	127/254	115/231	127/254	115/231	127/254	115/231	127/254
二相三線使用時	許容電流(A)	30.3	34.1	57.7	65.6	107/53.4	118/59	144/72	157/78.5	231/115	262/131	289/144	328/164	361/180	394/197
	出力割合(%)	100								100					
一相使用時	許容電流(A)	30.3	34.1	57.7	65.6	107/53.4	118/59	144/72	157/78.5	115/57	131/65	144/72	164/82	180/90	197/98
	出力割合(%)	100								50					

型式		SDG220		SDG300		SDG400		SDG500		SDG610		SDG800	
周波数(Hz)		50	60	50	60	50	60	50	60	50	60	50	60
電圧(V)		115/231	127/254	115/231	127/254	115/231	127/254	115/231	127/254	115/231	127/254	115/231	127/254
二相三線使用時	許容電流(A)	450/225	462/231	623/312	630/315	808/404	840/420	1039/520	1050/525	1279/640	1280/640	1617/808	1680/840
	出力割合(%)	80											
一相使用時	許容電流(A)	563/281	577/289	779/390	787/394	1010/505	1050/525	1299/650	1312/656	1599/800	1600/800	2021/1010	2100/1050
	出力割合(%)	100											

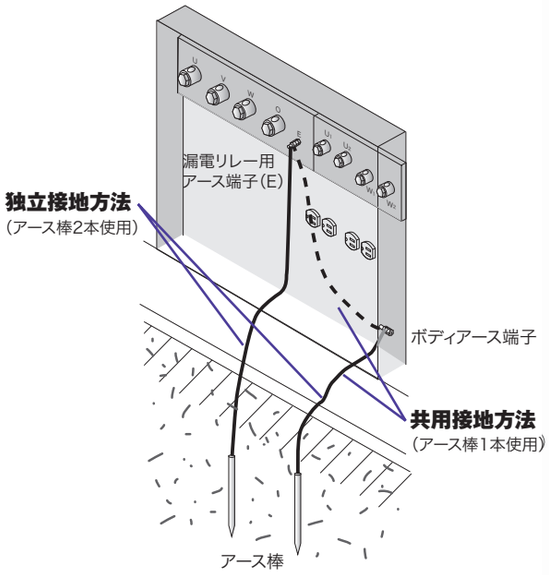
※SDG13～150で中性点(O端子)を使って単相出力を二相、三相平衡使用する時は、各相の電流値のアンバランス量を50%以内に抑えてください。
※出力割合は、定格電流に対して出力可能な割合を示します。(出力割合100%:定格電流の100%まで使用可能、出力割合50%:定格電流の50%まで使用可能)

接地方法

漏電保護装置を確実に作動させるために、次の接地工事を必ず実施してください。
接地工事は電気工事士の資格のある人が行ってください。

●本機のボディアース端子の接地
電気設備技術基準の200V級はD種(第3種)接地工事で接地抵抗が100Ω以下とし、400V級はC種(特別第3種)接地工事で接地抵抗が10Ω以下になるように接地してください。
接地用ケーブルの太さは、電気設備技術基準により発電機容量にみあった太さを選定してください。
アース棒も接地抵抗を満足できるものを準備してください。

●漏電リレー用アース端子(E)の接地
独立接地の場合は、接地抵抗が概ね100Ω以下になるように接地してください。
共用接地の場合は、200V級では接地抵抗が概ね100Ωになるように接地し、400V級では接地抵抗が10Ωになるように接地してください。
接地用ケーブルの太さは5.5mm²以上としてください。
独立接地、共用接地(右図参照)のどちらの方法でも可能です。
接地条件により接地抵抗が概ね100Ω以下を満足できない場合は、接地表面積の大きなアース棒を準備してください。



●負荷機器外被の接地
負荷機器外被の接地も必ず行ってください。
接地工事の200V級はD種(第3種)接地工事で接地抵抗が100Ω以下※とし、400V級はC種(特別第3種)接地工事で接地抵抗が10Ω以下※になるように接地してください。(※電路上に漏電遮断装置[100mA以下、0.5秒以下]を設置するときは接地抵抗を500Ω以下にすることができます。)
接地用ケーブルの太さは、電気設備技術基準により負荷容量にみあった太さを選定してください。
アース棒も接地抵抗を満足できるものを準備してください。

アースの種類	発電機電圧	接地の種類	発電機電圧
発電機ボディアース	200/220V	D種(第3種)	100Ω以下
	400/440V	C種(特別第3種)	10Ω以下
漏電リレー用アース	―	―	概ね100Ω以下
負荷機器外被アース	200/220V	D種(第3種)	100Ω以下※
	400/440V	C種(特別第3種)	10Ω以下※

※電路上に漏電遮断装置(100mA以下、0.5秒以下)を設置するときは、接地抵抗を500Ω以下にすることができます。

●外観および仕様は予告なく変更することがあります。